



2009 年 5 月 20 日

(1) 平成 21 年度ヘリウム料金改定について

さる平成21年5月12日に開催された極低温科学センター部会において、今年度のヘリウム利用料に関する料金算定方式が審議され、下記のように決定されましたのでお知らせいたします。この改定は施設運営費の減少、ヘリウムガス代金の値上げなどに対応したものです。ヘリウムガス回収率を α (%)、1リットル当りの料金をP(¥)としたとき、平成21年度の料金算定式は

$$P(\text{¥}) = 99 + 1512 \times \{(100 - \alpha)/100\}$$

となります。ここで算定の際に使用する回収率 α (%)は支払期間開始直前からさかのぼった半年間の値(例えば、4-6月分については10-3月の回収率、7-9月分に関しては1-6月分)を使用いたします。請求時期は

- ・ H21 年 4 月 - 6 月の利用料 7 月請求又は差引
- ・ H21 年 7 月 - 9 月の利用料 10 月請求又は差引
- ・ H21 年 10 月 - 12 月の利用料 1 月請求又は差引
- ・ H22 年 1 月 - 3 月の利用料 4 月差引 (H21 年度の大学運営資金からのみ)

となります。特に1-3月の利用料は、H22年4月支払いですが、H21年度大学運営資金から差し引かれますのでご注意ください。

外部資金での支払いは

(青葉山地区) <http://www.clts.tohoku.ac.jp/aobayama/helium.html>

(片平地区) <http://ltsd.imr.tohoku.ac.jp/tebiki.html>

から様式をダウンロードして文書にてお申し込み・登録後、可能となります。ご注意ください。

この件に関するセンター問い合わせ先

青葉山地区 青木 (内 6476) aokih@mail.clts.tohoku.ac.jp

片平地区 野島 (内 2167) nojima@imr.tohoku.ac.jp

(2) ヘリウム液化システム更新に伴う片平地区ヘリウム供給停止

片平地区のセンター(低温科学部)では今年度ヘリウム液化システムの更新を行います。このため、更新の工事期間において液体ヘリウムの供給を停止せざるをえなくなりました。現時点で、供給停止期間といたしまして下記の通り**平成 22 年 1 月から 3 月末**

(裏面に続く)

までを予定しております。卒業および修士論文時期の停止で大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解の程をよろしく御願いたします。

この停止期間を補う意味で、H21 年度に限り、片平地区の夏期の停止期間を最小限(金研事業場の計画年休期間 8/11-8/14 のみ)に抑えることを予定しております。こちらも合わせてヘリウム利用の年間計画を考えて頂ければ幸いです(青葉山地区は例年通りです)。

また、停止期間中、業者より直接液体ヘリウムを購入する研究室も出てくる事と思います。注文の殺到による混乱(業者の供給量限界や容器不足)も予想されますので、対策を立てるため、今年度秋ごろに、液体ヘリウム供給期間の1月~3月分の液体ヘリウムの購入予定についての調査をいたしたいと思えます。利用者の方にはご不便をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願いたします。

記

<片平地区>

ヘリウム液化システム更新の工事による

供給停止期間 平成 22 年 1 月~3 月末

(詳しい供給再開予定はホームページ等でお知らせします)

この件に関するセンター問い合わせ先

片平地区 野島 (内 2167) nojima@imr.tohoku.ac.jp